

〔 横浜にぎわい座 〕  
令和1年度業務報告及び収支決算  
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、  
●：主催事業。○：共催事業  
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、  
□：定量的指標。■：定性的指標  
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	横浜市中区野毛町 3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上13階建の地下2階から地上4階及び地上5階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4,358.97㎡
開館日	平成14年4月13日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地
代表者	理事長 近藤誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針

【目指す姿、果たすべき役割】

第三期5年間の目指す姿を“大衆芸能が後世に受け継がれ、横浜にぎわい座が市民に愛され、その運営や事業を通じて市民生活や地域を活性化していること”、果たすべき役割を“あらゆる市民に対して、大衆芸能の持つ魅力や可能性を様々な手法を通じて働きかけること”としました。にぎわい座の運営を担うことで、地域の活性化や、特色ある興行を目的とした来浜(=文化観光)促進などに取り組みます。大衆芸能は世代を越えて共に楽しめるジャンルです。アウトリーチなどを通じて高齢者の健康やコミュニティの活性化に資する事業を開発し、子どもについては学校教育との連携を図ります。大衆芸能はユーモアとニュアンスを含んだ豊かな日本語に触れる機会でもあり、このような特色を活かし、子どもたちのコミュニケーション力の向上や世代間交流にもつなげます。にぎわい座の運営を通じて、大衆芸能を後世に継承し、その豊かな可能性を現代

社会に十分に活用していくことで、横浜の魅力を高め、芸術文化を通じた市民生活の向上に貢献します。

## (2) 令和1年度の業務の方針及び達成目標の総括

### 新体制について

前年度に逝去した桂歌丸館長の後任として、7月1日に布目英一館長が就任しました。

新館長就任のニュースは多数のメディアで紹介されました。横浜にぎわい座の魅力とともに市民に広く周知され、順調に新体制がスタートしました。

#### ① 文化事業について

社会の落語への関心の高まりを、観客創造・誘客・販売促進につなげるため、経常公演全体を安定的に実施して大衆芸能への入り口としての本館の役割を果たすことができました。大衆芸能への関心を深める場である「横浜にぎわい寄席」、落語の奥深さを作品から知る「名作落語のタベ」、様々な演者の魅力を通して演芸に親しむ各種独演会など公演毎の機能を明確にして、集客、観客層の広がり、収支の安定性につなげました。

アウトリーチや寄席体験プログラムの実施、教育機関との連携により、市民や子どもの体験・鑑賞機会を増やしました。

広報ではSNSの活用と電子大福帳の本格運用により、大衆芸能全体の知識や関心が高まる情報提供を行いました。

また、野毛の街との協働を一層強め、横浜市での文化政策事業や近隣施設、地域に根差した活動を行うNPOや文化団体、にぎわい座に関心を寄せる市民等との連携を積極的に推進しました。

#### ② 施設運営について

民間主催者による大衆芸能公演をより積極的に誘致し、主催公演との相乗効果により施設の魅力を向上させるとともに、利用料金収入増もあわせてはかる取り組みをスタートさせました。またのげシャアレについてはコンテンポラリーダンスや演劇公演を誘致するプロモーション活動に取り組みました。

#### ③ 施設管理について

利用者・来館者に安心・快適に施設を使っていただけよう管理業務に取り組みました。経年劣化した箇所への対処や、小規模な破損に対する迅速な対応を行いました。これまで前例のない台風災害や、年度末の新型コロナウイルス感染症対策ならびに多数の公演中止対応においては、長年の施設運営で蓄積したノウハウを活かしながら安全かつ確実な対応を実施しました。

#### ④ 収支について

事務費や光熱水費等を抑えて効率的に経費を執行しながら、様々な取り組みによる事業収入増を達成することにより、概ね収支バランスを維持しながら施設経営を行いました。

## 4 業務の取組と達成指標

### (1) 文化事業について

#### ア 大衆芸能の公演、講座その他の事業の企画及び実施

##### [目指す成果]

- 毎月1日から15日の経常公演を、これまでの実績を活かして確実に実施し、事業の基軸とします。寄席形式公演「横浜にぎわい寄席」は、様々なタイアップや団体誘致を行い、落語や寄席に馴染みのない層にアピールして、観客数の増加に繋がります。

- ・リニューアル3年目の「名作落語の夕べ」は一層企画性に変化を持たせるとともに、リピート鑑賞に向けたサービスを続けます。
- ・所属団体・流派の垣根を越えた実力者、人気者などに捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民の大衆芸能に対するニーズに応える公演を開催します。
- ・「将来の名人を育てる道場」として若手育成を継続的に実施します。
- ・学校教育と連携し、大衆芸能の鑑賞・体験を通じて、子どもの創造性や感性を育むとともに、教育現場に関わる人々に働きかけます。市民に向けては大衆芸能ファンに限らず幅広い層に当館を知っていただき、将来の観客創造につなげます。

[成果の振り返り]

「横浜にぎわい寄席」「名作落語の夕べ」など自主事業全体で目標観客数を上回る成果をあげることができました。企画内容も落語だけにとらわれず、講談、浪曲など様々な出演者による公演、及び若手育成の公演を実施しました。

大衆芸能に親しむ講座も本館だけでなく、複数の会場で実施し、幅広い層に当館を知っていただくことができました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><b>◇幅広い大衆芸能の演目の多彩な構成による魅力的な公演等の企画・実施</b></p> <p><b>経常公演事業</b></p> <p>① 毎月1日から15日まで芸能ホールで自主事業を連日開催</p> <p>② 所属団体・流派等に捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民ニーズを満たす公演内容</p> <p>●「横浜にぎわい寄席」(毎月7回) 落語と多彩な色物で寄席の芸と雰囲気を楽しめる公演。学割や子ども料金をPRし、新しい観客を招へい</p>	<p><b>経常公演事業</b></p> <p><input type="checkbox"/>年間 200 公演以上開催。</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者 月平均 3,500 人以上。</p> <p>■団体を促進するイベント(幹事向けお試し鑑賞会)の実施。</p> <p>■区制50周年を迎える港南区、旭区、緑区、瀬谷区、区制80周年を迎える港北区、戸塚区を対象に区民優待デーを実施。</p> <p>■区民優待デーを通じて、区民文</p>	<p><b>[実施内容と達成状況]</b></p> <p><input type="checkbox"/>年間 196 公演開催 (10月台風で2公演延期、うち1公演は12月に振替実施。3月コロナウイルスの影響で臨時閉館、18公演中止・延期)</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 年間 46,290 人 年間平均 3,857 人 開館月(11月平均)4,208 人</p> <p>■みなとみらい地区の企業が参加するイベント連絡会で幹事向けに三月にぎわい寄席招待券を配布(公演中止のため次年度仕切り直し)</p> <p>■6区について区民優待デーを実施。6月戸塚区 266 名、7月緑区 134 名、9月港南区 199 名、10月港北区 163 名、11月瀬谷区 74 名、12月旭区 144 名、計 980 名が来場。</p> <p>■緑区民文化センター(みど</p>

<p>●「名作落語の夕べ」(毎月1回 第一土曜日) 古典落語を4人の演者がネタ出しで口演する、落語の名作をじっくり楽しめる公演</p> <p>●企画公演(毎月8回程度) 落語・漫才・コントから奇術、民謡等まで、幅広くバラエティに富んだ大衆芸能公演を日替わりで開催</p>	<p>化センター等地域の文化施設や文化団体等との連携を実施。</p> <p>■区民優待デー利用者の翌月以降のリピート来館を促進する取組みの実施。</p> <p>□チケット販売数 平均 110 枚以上。</p> <p>□「こども寄席」を年間2公演開催。</p> <p>■リニューアル3年目。三遊亭圓朝作品特集、長講長演の会など、名作の会ならではの企画性のある公演を毎回実施。</p> <p>■同じ席で鑑賞できるシリーズ券を先行販売し、「名作落語の夕べ」ファンの定着を図る。</p> <p>□チケット販売数 平均140枚以上。</p> <p>■気軽にグループで来場できる昼公演、じっくり堪能する夜公演の独演会など、「にぎわい座ならではの」「にぎわい座らしい」公演を連日開催。</p> <p>□実力ある若手を登用する公演を年20回以上開催。</p>	<p>りアートパーク)の事業に企画協力に参加。</p> <p>■旭区広報課と連携し、迎春プレゼントを提供。</p> <p>□全77公演(3月7公演中止)合計9,469枚販売、1公演平均123枚。</p> <p>□4月、8月に開催。売り上げは4月237枚、8月319枚。</p> <p>□4月「非日常体験～旅、空中飛行、地獄風景、夢」、7月「怪談と夏の噺特集」、8月「三遊亭圓朝作品特集」、11月「唄う噺特集」ほか。</p> <p>■4～9月を春夏セット券、10～3月を秋冬セット券として発売。売上80セット(春夏42、秋冬38。昨年参考33セット。)</p> <p>□全11公演(3月1公演中止)2,619枚販売、1公演平均238枚。</p> <p>□全108公演実施(10月2公演延期、3月10公演延期)</p> <p>■三遊亭円楽、柳家権太楼、立川志の輔、林家たい平、柳家三三、三遊亭兼好などベテランから中堅まで様々な人気落語家が研鑽を積む場として定期公演に出演した。また、年4回の上落語会は年々集客が増え、ファン層の定着がみられた。</p> <p>□5/15 新風落語会(柳亭小痴楽、三遊亭わん丈)、6/10 日本演芸家連合(宝井琴柑)など44公演で63名。この</p>
---	---	--

<p><b>◇創造的で発信性のある取組 みの実施</b></p> <p>①創造・挑戦的な取り組み</p> <p>●企画公演(毎月8回程度)…再掲 ネタおろし、名作の継承や新作発表など演芸界を活性化させる公演の実施開催。上方落語の公演を積極的に行うなど、にぎわい座ならではの公演を実現</p> <p>●のげシャレ公演 小ホールの小劇場的空間を活かした落語、漫才、コントなどの公演や異色のコラボレーションなど</p> <p>●近隣文化施設や団体との連携による新しい舞台作品の創造</p> <p><b>◇若手実演家育成の仕組作りと実践</b></p> <p>●「登竜門シリーズ in のげシャレ」</p>	<p>■日本の伝統的な大衆芸能を紹介する企画公演を開催。</p> <p>■ハメモノ入りの上方落語会で、能・狂言や歌舞伎などの古典芸能との関わりが深いことを伝える会を開催。</p> <p>□年間 10 公演以上開催。</p> <p>■30 年度に引き続き、横浜能楽堂と連携し、狂言と落語のコラボレーションなどにぎわい座オリジナル公演を開催。</p> <p>■個性的なロケーションでのアウトリーチ演芸会の実施。</p> <p>□年間 20 公演以上開催。</p>	<p>他、毎回二ツ目登用の横浜にぎわい寄席 77 公演もあり。ここには漫才、太神楽などの若手 51 組も出演。計 121 公演でのべ 191 組登用。</p> <p>■1/4「新春特選 ニッポンの芸！」で、獅子舞や万歳、水戸大神楽などを紹介。他、ネタおろしを 3 公演で実施。</p> <p>■11/9 上方落語会で、「上方のハメモノ特集」を開催。文楽と歌舞伎と関連する演目を口演。 「質屋芝居」：歌舞伎『勧進帳』、「堀川」：文楽『近頃河原の達引』より『堀川猿廻しの段』</p> <p>□16 公演（3 月 1 公演延期） 「ダメじゃん小出の黒く塗れ!」「だるま食堂コントライブ」などの人気公演のほか、「ただの鉄道好き」といった新シリーズがスタートした。</p> <p>■2/15「狂言と落語の会」を開催。“酒にちなんだ演目”として、狂言「棒縛り」と落語「犬の災難」をとりあげた。</p> <p>■5/19 栄区の本郷ふじやま公園内の古民家で「にぎわい座出前寄席」を継続実施。</p> <p>□23 公演（2 月 1 公演、3 月 2 公演延期）</p>
---	---	---

<p>小ホールで開催する若手芸人が研鑽を積むシリーズ公演</p> <p>○登竜門シリーズ卒業生等の活動をサポートする「にぎわい座共催公演」を実施</p> <p><b>◇鑑賞者の拡大を図る取組、事業を支える仕組みの構築</b></p> <p>●市民ニーズの把握と公演および施設運営への反映</p> <p>●観客創造事業「大人のための寄席体験」 寄席の楽しさを知るトークや解説付の落語会</p> <p>●貸切公演 団体からの要請により貸切公演を開催。新規顧客を開拓し、リピート鑑賞につなげる</p> <p>●にぎわい会員</p>	<p>□入場者数平均 100 名以上。</p> <p>■芸能ホール進出実現のためのサポートを行うとともに、新規演者の会を開始して活性化を図る。</p> <p>□年間 2 公演以上受け入れ。</p> <p>□全公演でのアンケートの実施。 □市民サポーター等による公演モニタリングの実施 2 回以上。公演内容だけでなく、施設全体の使い勝手、バリアフリー等の意見も収集。</p> <p>□2 回以上開催、合計参加者 80 名以上、初来館者 80%以上。 □館外で開催の場合は、にぎわい座での鑑賞に繋げる企画を実施。</p> <p>□貸切公演6回以上開催、主催者の満足度4以上(5段階評価)。</p> <p>□にぎわい会員登録数 15,000 人</p>	<p>□入場者数 1 公演平均 104 名(1 月までの実施分) 年間 2,403 人入場。</p> <p>■6月に2つの会が新規にスタート(6/16 一龍斎貞鏡勉強会、6/22 国本はる乃・真山隼人二人会)。また、二ツ目の桂宮治が 1/9 の会で芸能ホール進出を実現。</p> <p>□4 公演受け入れ 立川こはる「こはるパラダイス」3 公演、立川志の八「しのはちの巣 in にぎわい vol. 4」1 公演</p> <p>□全公演でアンケートを実施 □3 月に実施予定だったが、臨時休館となり、未実施。</p> <p>□特定の趣味から演芸好きになっていただく「ただの鉄道好き」公演を開始し、鉄道ファンを動員。「大人のための寄席体験」(落語のトビラ)とあわせ 2 回実施。合計参加者 186 名。初来館者カウントできず。 □館外では実施せず。</p> <p>□中学校の寄席体験 2 回を含む 4 回実施、すべてリピート利用。主催者満足度 5 を取得。</p> <p>□にぎわい会員登録数19,642</p>
--	---	--

<p>チケット購入用の会員制度、スタート4年目</p> <p><b>◇市民の大衆芸能に関する学習活動や創作活動支援</b></p> <p>●寄席文化体験 動物ものまねや寄席文字など寄席に因んだワークショップ</p> <p>○「野毛まちなかキャンパス」野毛やその周辺の魅力を掘り起こす社会人向け大学講座に大衆芸能のコンテンツで参加。野毛地区街づくり会、横浜商科大学との共催事業</p> <p>●バックステージツアー 普段知る機会の少ない舞台裏を、寄席を楽しむミニレクチャーを交えて紹介</p> <p>●アウトリーチ 施設への来館が難しい方向けや個性的なロケーション</p>	<p>達成。</p> <p>■購入履歴を活用した効果的なPRの実施。</p> <p>■予約したチケットの引取ルールを改訂し、未引取チケットの減少を実現。</p> <p>□野毛山動物園と連携した「動物ものまね教室」「橘流寄席文字講座」「太神楽曲芸体験教室」など3講座以上の開催、受講者70名以上。</p> <p>■開港160周年にちなみ、野毛の街のにぎわいを伝える展示と関連事業。</p> <p>■要請に応じて企業や教育機関と連携した講座を実施。</p> <p>□講座の共催開催2回以上、会場提供3回以上、職員の講師派遣2回以上。</p> <p>□一般向け（子ども向け）3回以上、団体向けオンデマンド開催5回以上。</p> <p>□国際交流施設での実施、若手芸人の起用2回以上、アウトリーチ先の新規開拓。</p>	<p>人（3/31現在）。</p> <p>■不定期で実施。区民優待や公演中止・払戻案内も含め、14回実施。</p> <p>■チケット引取り期限を15日に延長し、自動キャンセルのシステムを導入。</p> <p>□8/12 寄席文字教室2回計35名、8/20 太神楽曲芸体験26名（保護者含む）、9/29「野毛山動物園観察と鳴きまね講座」32名（保護者含む）、計93名</p> <p>■5、6月に「横浜開港160周年記念森直実写真展」開催。5/25に関連事業「ダメじゃん小出の黒く塗れ！横濱テーマに本気～トーク」開催。</p> <p>■野毛山動物園との共催事業のほか、横浜商科大学と横浜国立大学で講座実施。</p> <p>□講座開催2回、会場提供4回、講師派遣2回</p> <p>□全8回実施 一般向けは1回の開催だったが、オンデマンドの団体向けを7回実施した。</p> <p>□1/13 みどりアートパーク寄席に企画協力として参加。国際交流施設では未実施。</p>
---	---	---

<p>での実演で大衆芸能の楽しさを届ける館外活動。31年度は「国際交流」を重点テーマに、NPO等と協働で実施</p> <p><b>◇子どもの創造性育成の取り組み</b></p> <p>○寄席体験プログラム（6回） 近隣の小学生が落語鑑賞と寄席独特の鳴り物などを体験する公演。公益社団法人落語芸術協会との共催事業</p> <p>○横浜市芸術文化教育プラットフォーム 「学校プログラム」 市立学校に出かけて行うアウトリーチ事業</p> <p>○教育委員会、教育機関との連携事業</p> <p><b>◇快適な鑑賞環境の整備</b></p>	<p>■市民サポーター協働のモデル事業としての実施。</p> <p>■個性的なロケーションでの演芸会の実施（再掲）。</p> <p>□6月、10月の2期に分けて開催。</p> <p>■本事業を通じた学校との情報交換、「こども寄席」などのPR活動など連携実施。</p> <p>■要請に応じてコーディネート実施。</p> <p>■要請に応じて実施。アウトリーチ、大衆芸能を主題にした教員向け研修会など。</p> <p>■携帯電話抑制装置の設置、鑑賞マナー・リテラシーを向上させる印刷物の作成、場内アナウンスの工夫等。</p>	<p>□福祉施設、銭湯、古民家など7回実施、若手芸人6公演9名起用。</p> <p>■西区の社会福祉法人横浜共生会、栄区の本郷ふじやま公園管理運営委員会との協働。</p> <p>■昨年から継続して、本郷ふじやま公園の古民家で「にぎわい座出前落語会」を実施。</p> <p>□6月と10月の7日間計7回実施。中区、西区の市立小学校計19校の児童1586人が参加。</p> <p>■「夏のこども寄席」チラシ配布のほか、要望に応じて施設見学や総合的学習の対応。</p> <p>■9/27 山内小、10/29 新羽中、11/15 小机小の3校で実施。落語と太神楽曲芸の鑑賞や体験を実施。中学校での実施は初。</p> <p>■教育委員会、市立一本松小学校からの要請で、小学6年生を対象に太神楽曲芸講座を実施。講師：柳貴家雪之介。</p> <p>■実施</p>
--	--	--

イ 大衆芸能に関する情報の収集及び提供

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大衆芸能に関する多様な情報を収集し、適切に提供することで大衆芸能の魅力を広く伝えます。この分野の専門施設として相談や各種照会に対応し、市民ニーズに応えます。</li> <li>・自主事業広報は、公演毎に訴求ターゲットを意識してデザインや使用ツールを改訂し、新たな鑑賞者やファンを獲得します。</li> <li>・展示事業は、大衆芸能を紹介するものに加え、施設との連携も交えて実施し、より多くの市民に足を運んでいただく機会とします。</li> </ul> <p>[成果の振り返り]</p> <p>公演情報は電子大福帳で集約することができた。また各種相談は市民からだけでなく、出演者からもあり、その都度丁寧に応じている。</p> <p>広報や展示事業の工夫も行うことができた。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p><b>情報収集および提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公演情報の収集 大衆芸能公演や市内の文化事業のチラシ、ポスターを配架</li> <li>●公演情報の活用 企画公演等、過去の公演情報の活用</li> <li>●情報提供、相談対応 専門施設として外部からの相談に対応</li> </ul> <p><b>広報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●広報、ホームページ、情報発信</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■より分かりやすく手に取りやすい配架方法に変更。</li> <li>■チラシラックには「スタッフのお薦めコメント」を付けて、親しみやすさを付加。</li> <li>■町内会、野毛ちかみち掲示板を活用し通行人に向けて、にぎわい座の楽しみ方を紹介。</li> <li>□電子大福帳にすべての公演情報を入力。</li> <li>■電子大福帳を一般に公開。調査・研究目的のみでなく、鑑賞に有効な機能を付け、大衆芸能公演のアーカイブ化と継承に活用。</li> <li>□催事開催に関する相談対応や出演者の紹介などのコーディネート 30 件以上。</li> <li>□にぎわい会員を対象にメールマガジンを年間 24 回以上配信。</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■変更済</li> <li>■実施。スタッフのお薦めコメント以外に、出演者からのコメントも掲出。</li> <li>■野毛ちかみち掲示板にも「お薦めコメント」を付ける</li> <li>□年度内の全公演情報を入力。過去の公演や出演者情報の追記・検証も継続。</li> <li>■大福帳の HP 公開を実現。8/30 ホームページ上での試験運用開始、2020 年 1 月本格運用を開始。公開後も、随時情報追加と検証を行っている。</li> <li>□30 件実施。</li> <li>■49 回実施</li> </ul>

<p>チラシ、ポスター、ホームページ及び SNS 等により、公演情報を提供</p> <p>●メディア懇談会 記者や編集者を対象にした懇談会を開催し、活動を紹介</p>	<p>□Twitter を年間 400 回以上配信。</p> <p>■Twitter は公演や開館案内だけでなく、地域の行事や大衆芸能に関するミニ知識、本日の公演の様子など多彩な内容で配信。</p> <p>■チラシは公演やシリーズごとに訴求対象を明確にし、それに合わせた仕様を採用。特に落語未経験者を意識した掲載内容を考慮する。</p> <p>■財団の広報・ACY グループと連携したプレスリリースの実施。</p> <p>□1 回以上開催。</p>	<p>■445 回配信</p> <p>■周辺情報は 18 回配信、本日の公演の様子のほか、楽屋の様子を写真も活用して配信。</p> <p>■「こども寄席」や落語初心者向け公演「落語のトビラ」こどもや女性をターゲットにした内容で作成。</p> <p>■夏休みのこども事業の PRTIMES への掲載のほか、みなとみらいイベント連絡会に参加しにぎわい寄席の PR 実施。</p> <p>■新館長就任にあわせて 2 回実施。</p>
<p><b>展示事業・館内演出</b></p> <p>●展示事業 2 階展示コーナーで常設展、企画展、特別展を開催</p> <p>●館内装飾 エントランス他に季節の装</p>	<p>□企画展として「中島修展」のほか、手拭い展、写真展や寄席文字展など 4 回以上開催。</p> <p>■「黄金町バザール 2019」サテライト展示。</p> <p>□市民団体や近隣施設と連携した特別展を 2 回以上実施。「野毛大道芸展」「干支の絵展」など。</p> <p>■常設展も解説や展示方法を改訂し、展示の質を向上。</p> <p>□季節の館内装飾は年間 10 回以上展示替え。</p>	<p>□「横浜開港 160 周年記念森直実写真展」、こどもの絵展、電子大福帳紹介展示、「ただの鉄道好き」展など 8 回開催</p> <p>■演芸場としての使命と乖離しているので内容を変更</p> <p>□「野毛大道芸展」「さよなら亥年展」「干支の絵展」3 回</p> <p>■「いにしへの伊勢佐木町」展として開催。企画展スペース拡大のため、スペースがあるときのみ実施。</p> <p>■毎月テーマを決めて実施。(3 月休館のため全 11 回)</p>

飾を行い、来館の楽しさを高め、ホスピタリティを向上		
---------------------------	--	--

ウ 街のにぎわいづくりへの寄与

<p>[目指す成果] 地域の活性化を目的に、「野毛地区街づくり会」ほか地域の団体の活動に協力し、街のにぎわい創りに貢献します。</p> <p>[成果の振り返り] 新体制となった今年度、改めて野毛の各種会合へ参加し、野毛活性化への貢献に取り組む横浜にぎわい座の姿勢をアピールしました。にぎわい座利用促進委員会の関連会議へも積極的に参加し地域主催イベントへの協力に取り組みました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●野毛地区の飲食、物販業と連携したプロモーション活動</p> <p>●公演鑑賞と飲食の楽しみで相乗効果を図る取組の実施</p> <p>○野毛地区主催のイベントへの協力</p> <p>●MM21 地区からの誘客</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■野毛地区飲食業協同組合の「野毛手形」(飲み歩きクーポン)に参加。</p> <p>■にぎわい座公演チケット半券提示による飲食店でのサービス提供などタイアップ実施。</p> <p>■合コン企画に参加し、新規来館者を獲得し、野毛への誘客も実現。</p> <p>■のげ茶屋(野毛地区飲食業協同組合運営)と連携し、公演鑑賞を更に楽しくする飲食サービスの提供。</p> <p>■野毛地区街づくり会内設置の「にぎわい座利用促進委員会」との共催事業の実施。</p> <p>■野毛大道芸など地域主体のイベントへの協力。</p> <p>□MM21 地区の就業者の交流団体</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ラグビーワールドカップ来日観光客への対応のため、5/31 までの取り扱いを延長し 11/30 まで取り扱い。</p> <p>■近隣ハンバーガーショップで公演チケットを提示すると割引になるサービスを実施。同店 11 月末閉店。</p> <p>■企画の要請なし</p> <p>■主催公演、貸館公演でサービスを通年提供。</p> <p>□4 公演 5 講座実施</p> <p>■サンバコンサート、JAZZ セミナー、野毛地区敬老演芸会、野毛まちなかキャンパス、チャリティー寄席を共催。</p> <p>■野毛大道芸関連展示「大道芸人展 森直実写真展」(再掲)ほか、ポスター掲示、当日パンフレット配布、SNS 配信など。</p> <p>■のげやまくん情報、通年掲出</p> <p>□みなとみらいかもめ SCHOOL</p>

	向けにイベントを実施し、野毛への誘客を実現。イベント実施2回以上。	に参加、チーフプロデューサーによる落語解説とにぎわい座での公演鑑賞(4/4、9)。その他、みなとみらい地区のイベント連絡会に参加し、にぎわい寄席のPR実施。
--	-----------------------------------	--

エ 市民と大衆芸能をつなぐ取組

<p>[目指す成果]</p> <p>地域に根差した施設として、意欲ある市民の方に支えていただくとともに、多様な分野の市民団体やNPOとの協働により、魅力やホスピタリティにあふれ、また多方面からのアクセシビリティを実現する施設運営を行います。</p> <p>[成果の振り返り]</p> <p>市民サポーターの力を借りて団体販売を行うとともに、市民団体との協働でアウトリーチ事業も実施した。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●にぎわいスタッフの力を活かした施設運営</p> <p>●市民サポーター、市民団体、NPOとの協働</p> <p>●職業体験、アートマネジメント実習</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□にぎわいスタッフの声を活かすために、改善提案アンケートを年2回以上実施。</p> <p>■チケット販売促進プロジェクトの推進。</p> <p>□アウトリーチ、鑑賞者開拓、広報活動、施設へのアクセシビリティ向上、バリアフリー検証等での実績6件以上。</p> <p>■学校や学生からの要望により積極的に受け入れ。にぎわい座ならではの体験の場を提供。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□窓口対応業務改善提案アンケートを10月に実施</p> <p>■実績：にぎわいスタッフOBによる団体販売。4公演126枚。</p> <p>□活動実績14件。 福祉施設、銭湯、古民家でのアウトリーチ6件、横浜開港アンデパンダン展共催による展示、にぎわいスタッフOBによる団体鑑賞等。</p> <p>■職業体験に欠かせない公演開催日に日程が合致する要望がなかったため実施無し。</p>

オ 都市戦略および他施設との連携

<p>[目指す成果]</p> <p>市内で開催されるフェスティバル事業等に積極的に参画します。にぎわい座の舞台芸術分野におけるポテンシャルやユニークネスを十分に活用し、他の施設や組織と協働で事業を実施することで、横浜独自の魅力ある事業の国内外への発信に取り組みます。</p> <p>[成果の振り返り]</p>
--

横浜音祭りへの参加、他の施設との協働も行い、大衆芸能を幅広く発信することができた。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><b>都市政策・施設連携事業</b></p> <p>●横浜芸術アクション事業「音楽」への協力</p> <p>●2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関連企画</p> <p>○「横浜ジャズプロムナード2019」運営協力</p> <p>○「横浜ダンスコレクション2020」のげシャール公演共催</p> <p>●修学旅行や横浜遠足での鑑賞機会提供</p> <p>●地域文化施設との連携</p>	<p>■実行委員会からの要請に合わせて、連携企画、広報協力などを実施。</p> <p>■伝統芸能に目を向けてもらう機会が増えるので、こどもたちに太神楽曲芸を知ってもらう講座を実施…再掲。</p> <p>■一部公演で英語の解説書を作成、または英語による寄席解説資料を作成。</p> <p>■会場運営チーフに職員を派遣。</p> <p>■会場提供、運営支援、広報協力を実施。</p> <p>□修学旅行、横浜遠足、卒業記念鑑賞会3件以上。</p> <p>■狂言と落語のコラボレーションなど にぎわい座オリジナル公演を開催（横浜能楽堂と連携）…再掲。</p> <p>■野毛山動物園と連携した「動物ものまね講座」…再掲。</p> <p>■「黄金町バザール2019にサテライト展示会場として参加…再掲。にぎわい座からの出前</p>	<p>■共催公演として「国本はる乃・真山隼人二人会」開催</p> <p>■横浜音祭りを契機として、浪曲の魅力を伝える動画を作成し YouTube にアップするとともに、その URL の QR コードを大きく掲載した公演宣伝チラシを作成配布。</p> <p>■8/20「太神楽曲芸体験講座」実施、14名+保護者12名参加。</p> <p>■未実施</p> <p>■1名派遣し、事前準備等を行ったが、台風のため本番中止となった。</p> <p>■4事業10公演実施。会場提供ほかの支援を行った。ダンコレ参加団体に会場紹介を配布。</p> <p>□2件実施（5/24、10/25） 1件キャンセル（3/3）</p> <p>■2/13「狂言と落語の会」開催</p> <p>■9/29「動物ってなんて鳴くの？～野毛山動物園観察と鳴きまね講座～」開催。</p> <p>■演芸場としての使命に沿った展示はできないとの申し出があり、中止となった。</p>

	演芸会も実施。	
--	---------	--

(2) 施設運営について

ア 大衆芸能等の公演、練習、創作その他の活動のための施設の提供

<p>[取組内容]</p> <p>① 基本的な施設の提供</p>	<p>[達成指標] [実施内容と達成状況]</p> <p>■開館予定日数・時間</p> <table border="1" data-bbox="403 405 1099 506"> <tr> <td>開館日数</td> <td>341日 (月2回 施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>10時～22時</td> </tr> </table> <p>■利用料金について (平日、入場料無料時)</p> <table border="1" data-bbox="403 600 1457 992"> <tr> <td></td> <td>10:00 ～12:00</td> <td>13:00 ～16:30</td> <td>17:30 ～22:00</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>芸能ホール</td> <td>25,600</td> <td>44,800</td> <td>70,400</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>10:00 ～12:00</td> <td>12:30 ～14:30</td> <td>15:00 ～17:00</td> <td>17:30 ～19:30</td> <td>20:00 ～22:00</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>9,600</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td>練習室</td> <td>1,400</td> <td>1,400</td> <td>1,400</td> <td>1,800</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>制作室</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> </tr> </table>		開館日数	341日 (月2回 施設点検で休館)	開館時間	10時～22時		10:00 ～12:00	13:00 ～16:30	17:30 ～22:00			芸能ホール	25,600	44,800	70,400				10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00	小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600	練習室	1,400	1,400	1,400	1,800	1,800	制作室	900	900	900	1,100	1,100
開館日数	341日 (月2回 施設点検で休館)																																									
開館時間	10時～22時																																									
	10:00 ～12:00	13:00 ～16:30	17:30 ～22:00																																							
芸能ホール	25,600	44,800	70,400																																							
	10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00																																					
小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600																																					
練習室	1,400	1,400	1,400	1,800	1,800																																					
制作室	900	900	900	1,100	1,100																																					
<p>[取組内容]</p> <p>② 利用料金の改訂</p> <p>③ 貸館の運営体制</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■小ホールと制作室のセット割引を設定。</p> <p>■利用状況、附帯設備セット内容変更。</p> <p>■管理担当職員 1 人を貸館メイン担当とし、舞台技術者とともに公演打合せや利用相談を担当。</p> <p>■見学対応は全員で実施。</p> <p>■舞台技術スタッフは芸能ホール 3 人、小ホール 1 人を基本とし、小ホールは利用状況に応じて 2 人体制として安全管理に注力。</p> <p>■舞台技術統括責任者は経験 10 年以上、残り 4 人も経験 5 年以</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■小ホール・制作室同時利用の需要掘り起こしのため、のびシャール「ダンス・演劇利用」PR を行った。</p> <p>■カセットテープの利用の要望が根強く残るため、変更見合わせ。</p> <p>■貸館担当者 (メイン 1 名、サブ 1 名) 体制。</p> <p>■全員が対応することで、急な施設見学に対応。</p> <p>■達成指標の人員にプラスして、初利用の場合は舞台スタッフが 1 名専任で対応。</p> <p>■統括責任者は経験 30 年。他にも条件を充足。</p>																																								

④ 要望・苦情への対応	<p>上。</p> <p>■貸館に関する要望、苦情はすべて副館長まで報告。</p> <p>■内容によって財団事務局や文化観光局に即時に報告。</p>	<p>■客席や設備、臨時休館、チケット払戻や利用料金返還方法に関する苦言あり。</p> <p>■事務局等に報告が必要な事案はなし。</p>
-------------	--	---

イ 利用促進及びサービスの向上、アイデア・ノウハウの一層の活用

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>① 利用率の向上</p> <p>② 利用の促進</p> <p>③ グッズの販売</p> <p>④ 1階エントランスの活用</p>	<p>□目標利用率</p> <p>芸能ホール：80% 小ホール：70%</p> <p>*利用可能日に対する稼働率。</p> <p>練習室：75% 制作室：55%</p> <p>*利用可能時間帯に対する稼働率。</p> <p>■土日祝日の施設空き情報をホームページ、SNSで案内。</p> <p>□利用希望者施設見学受け入れ12件以上。</p> <p>□利用促進のための見学会の開催2回以上。</p> <p>□練習室利用促進のため大学等のダンスサークル10団体以上に宣伝活動実施。</p> <p>□練習室、制作室の紹介ツール作成2種以上。</p> <p>□多彩な利用が可能な小ホール「のげシャレ」をクローズアップするPRを実施。</p> <p>□若手芸人公演を支援する「にぎわい座共催公演」の開催2件以上…再掲。</p> <p>□グッズ取扱い5種類以上。</p> <p>□地域イベントのインフォメーション実施1回以上。</p>	<p>□利用実績</p> <p>芸能ホール：71%小ホール：58%</p> <p>*利用可能日に対する稼働率</p> <p>練習室：59% 制作室：29%</p> <p>*利用可能時間帯に対する稼働率</p> <p>□台風と新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館30日と短縮営業1回を実施。</p> <p>□抽選会后、土日祝日のホール空き情報をホームページで14回案内。</p> <p>□見学受け入れ35件</p> <p>□芸能ホールは「大衆芸能公演（共催）」のげシャレは「ダンス・演劇利用」において新たな利用方法・発信方法を開発し利用促進を図った。見学会の案内と実施は、臨時休館のため中止となった。</p> <p>■宣伝ツールを作成</p> <p>芸能ホール；大衆芸能公演募集 ホームページ、館内ポスター のげシャレ；ダンス・演劇利用 チラシ作成&amp;配布 練習室・政策室；施設PR 広告掲載2種</p> <p>□立川こはる勉強会3公演、立川志の八落語会1公演の全4公演（再掲）</p> <p>□全11種類取扱い。</p> <p>うち、にぎわい座オリジナル3種類。</p> <p>□2事業に協力し、実施</p> <p>■野毛大道芸の情報コーナー、通年で「の</p>

<p>⑤ 3階売店との連携</p> <p>⑥ 新たな貸出プランの開始</p> <p>⑦ 新たな利用者サービスの開始</p>	<p>□団体用チケット販売所としての運用。</p> <p>■のげ茶屋とのタイアップの実施。</p> <p>□撮影での貸出 年2回以上。</p> <p>□経常公演期間中の空き時間の貸出 年4件以上。</p> <p>■料金設定のないスペースでの撮影貸出の運用。</p> <p>□表方スタッフの配置サービス提供 2件以上。</p>	<p>げやまくん」情報掲出。</p> <p>■要望に応じて、当日チケット引換所や受付等にスペースを提供。</p> <p>■貸館公演での営業、お弁当手配</p> <p>■臨時休館に伴う営業停止の話し合い</p> <p>□撮影利用2件。映画、CM撮影</p> <p>□経常公演中の貸出しは、要望なし。</p> <p>□要望なし</p> <p>□表方スタッフ配置サービス3件。</p>
---	--	---

ウ 組織的な施設運営

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]																																																									
<p>① 第三期提案の実行と課題解決を実現する適材適所の配置</p>	<p>■人材の配置</p> <table border="1" data-bbox="437 927 922 1420"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>チーフ・ロケータ</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級・専門職員</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>2人</td> <td>管理運営1、事業1</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>4人</td> <td>管理2、事業2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>4人2.5ポスト</td> </tr> <tr> <td>公演表方チーフ</td> <td>1人</td> <td>2人1ポスト</td> </tr> <tr> <td>にぎわいスタッフ</td> <td>30人</td> <td>最大予定人数</td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長	1人	非常勤	副館長	1人	課長補佐級	チーフ・ロケータ	1人	課長補佐級・専門職員	チームリーダー	1人	係長級	担当リーダー	2人	管理運営1、事業1	職員	4人	管理2、事業2	アルバイト	2人	4人2.5ポスト	公演表方チーフ	1人	2人1ポスト	にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数	<table border="1" data-bbox="941 927 1426 1375"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長/チーフ・ロケータ</td> <td>1人</td> <td>常勤</td> </tr> <tr> <td>支配人</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>1人</td> <td>事業1</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>5人</td> <td>管理3、事業2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公演表方チーフ</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>にぎわいスタッフ</td> <td>25人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長/チーフ・ロケータ	1人	常勤	支配人	1人	課長補佐級	チームリーダー	1人	係長級	担当リーダー	1人	事業1	職員	5人	管理3、事業2	アルバイト	2人		公演表方チーフ	1人		にぎわいスタッフ	25人	
項目	人数	備考																																																									
館長	1人	非常勤																																																									
副館長	1人	課長補佐級																																																									
チーフ・ロケータ	1人	課長補佐級・専門職員																																																									
チームリーダー	1人	係長級																																																									
担当リーダー	2人	管理運営1、事業1																																																									
職員	4人	管理2、事業2																																																									
アルバイト	2人	4人2.5ポスト																																																									
公演表方チーフ	1人	2人1ポスト																																																									
にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数																																																									
項目	人数	備考																																																									
館長/チーフ・ロケータ	1人	常勤																																																									
支配人	1人	課長補佐級																																																									
チームリーダー	1人	係長級																																																									
担当リーダー	1人	事業1																																																									
職員	5人	管理3、事業2																																																									
アルバイト	2人																																																										
公演表方チーフ	1人																																																										
にぎわいスタッフ	25人																																																										
<p>② 施設の安全管理を実現するシフト配置</p>	<p>■勤務体制はシフト制とし、主催事業や貸館状況に応じて出勤職員、人数を決定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務室 <ul style="list-style-type: none"> <li>A 勤務（9:30～18:15） 最少2人</li> <li>B 勤務（13:15～22:00） 最少2人</li> </ul> </li> <li>受付窓口 <ul style="list-style-type: none"> <li>A 勤務（9:45～13:55） 人数は状況による</li> <li>B 勤務（13:45～17:55） 人数は状況による</li> <li>C 勤務（17:45～22:00）</li> </ul> </li> </ul>	<p>■勤務体制は2シフト制とし、主催事業や貸館状況に応じて出勤職員、人数を決定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務室 <ul style="list-style-type: none"> <li>A 勤務（9:30～18:15） 最少2人</li> <li>B 勤務（13:15～22:00） 最少2人</li> </ul> </li> <li>受付窓口 <ul style="list-style-type: none"> <li>A 勤務（9:45～13:55） 人数は状況による</li> <li>B 勤務（13:45～17:55） 人数は状況による</li> <li>C 勤務（17:45～22:00）</li> </ul> </li> </ul>																																																									

	人数は状況による	人数は状況による
③ 大衆芸能分野の専門的人材の配置及び育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大衆芸能分野のプロデューサーを配置。事業担当職員を専門職員候補として中期的に育成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大衆芸能に造詣の深い館長・チーフプロデューサーの指導の下、事業制作担当職員 3 名の専門性向上に努めるとともに、次年度採用を視野に、外部専門人材の登用準備を進めた。</li> </ul>
④ その他の人材育成、チームワーク醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市民サポーターや地域連携推進のため、職員がファシリテーターとしての役割を發揮。</li> <li>■研修参加や資格取得を奨励。</li> <li>■特定の課題、テーマについて全職員が意見を言える環境づくり。</li> <li>■窓口スタッフの接客スキルの向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■栄区・本郷ふじやま公園の寄席企画を市民協働で実施。</li> <li>■市や財団主催の研修参加を奨励。サービス介助士の取得 2 名。救急救命、災害時初動研修、広報研修などに参加。</li> <li>■10 月に業務改善アンケートを実施</li> <li>□OJT のほか、全体研修を 3 回実施。</li> </ul>

エ 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など市の重要施策を踏まえた取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 個人情報保護・情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「財団の個人情報保護に関する規程」「にぎわい座個人情報取扱マニュアル」を遵守。</li> <li>■ファックス送信や郵送の際のダブルチェックの徹底。</li> <li>■入場券販売に票券管理システムを使用し、紙ベースでの顧客情報保管を廃止。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新規採用者に対する個別の個人情報研修を実施。全体研修でも全員を対象に研修実施。</li> <li>■ファックス送信や郵送の際のダブルチェックは遺漏なく実施。</li> <li>■顧客（購入者）情報はセキュリティの高い外部サーバーで管理。受託販売の顧客情報は施錠保管。</li> <li>□職員研修で実施。</li> </ul>
② 人権尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人権研修への参加、職場内での研修実施。</li> <li>□にぎわいスタッフ向け接遇研修実施（年 2 回以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□2 回実施。</li> </ul>
③ 環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設の利用状況をこまめに確認し空調・照明のオンオフ操作による光熱水費の削減。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■必要以外の消灯やその日の天候に合わせた空調の細かい設定により、省エネを実現。</li> <li>□光熱水費 18,343,273 円 前年度比 98.08%</li> </ul>

<p>④ 市内中小企業優先発注</p>	<p>■貸館利用者に向けたゴミ処理有料化等の新規取組により、ゴミの軽減と持ち帰りを促進。</p> <p>市内中小業者への発注率</p> <p>□備品・消耗品購入 90%以上</p> <p>□修繕・備品の買い替え 90%以上</p> <p>□印刷物 80%以上</p>	<p>■ゴミ処理有料化は来年度以降に持ち越し。</p> <p>■令和2年4月1日正面玄関横を全面禁煙にする周知を行った。</p> <p>□備品・消耗品購入 92.1%</p> <p>□修繕・備品の買い替え 46.1%</p> <p>大型LED壁掛け時計をメーカー直納。冷水器、クレジット端末等の修理は業者が特定されるため、市外業者にも発注</p> <p>□印刷物 98.2%</p>
---------------------	---	---

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>① 施設及び設備の維持保全及び管理</p>	<p>■建築設備、舞台設備の施設保守管理業務項目一覧に明記した保全管理及び点検の遺漏ない実施。</p> <p>■委託業者により設備系及び消防系の目視点検を毎日実施。</p> <p>□設備の不具合による施設貸出停止ゼロ。</p> <p>□来館者アンケートにおける施設快適性評価4以上。</p>	<p>■保全管理、点検は遺漏なく実施。</p> <p>■委託業者による設備系、消防系の目視点検は毎日実施。</p> <p>□設備の不具合による施設貸出停止ゼロ。</p> <p>□来館者アンケートにおける施設快適性評価4.44</p>
<p>② 小破修繕の着実な実行</p>	<p>■優先順位を的確に判断しての修繕、更新の実施。</p>	<p>□16件1,825,006円の修繕、更新を実施。その他、お客様の有責案件3件を実施。</p> <p>■館内手すり補修等を実施。</p>

イ 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>① 事故防止対策、緊急時（防犯）対応</p>	<p>□施設管理者有責による人身事故ゼロ。</p> <p>■職員及び委託業者による巡回やモニタリングにより、危険、要介護者を早期に発見し、適切に対応。</p> <p>■施設の利用状況に合わせ、楽屋管理</p>	<p>□施設管理者有責による人身事故0件</p> <p>□サービス介助士2名取得</p> <p>■巡回や監視カメラによるモニタリングを適切に実施。</p> <p>■朝礼でその日のスケジュールに</p>

<p>② 感染症対策等</p> <p>③ 緊急時の体制、連絡体制</p>	<p>口ににぎわいスタッフが常駐し、開施設及び管理を実施。</p> <p>■職員及び委託業者による巡回で異常を早期に発見。</p> <p>■汚物処理は感染症を念頭におき、効果的に実施。</p> <p>■ローテーション勤務の中、予め当日の責任者を明確にして対応。</p> <p>■自主事業や観客の多い貸館公演の日は、出勤職員を増やして対応。原則としてリーダー以上が出勤。</p>	<p>合わせた楽屋管理口へのスタッフ配置を指示。</p> <p>□1日5回巡回実施</p> <p>■ノロ対策グッズを常備</p> <p>■新型コロナウイルス感染症対策として、3月のチケット発売日の来館販売を中止し、利用抽選会の抽選代行を行った。</p> <p>■手指消毒液の配備数を増やし、臨時休館中の貸館利用前後の清掃を強化。</p> <p>■シフト作成のなかで責任者の明確化を実施。</p> <p>■シフトのなかで実施。</p>
--------------------------------------	--	--

ウ 防災に関する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>① 危機管理マニュアルの整備</p>	<p>■現行マニュアルの検証と必要な改訂。</p> <p>■天候異常や交通機関の停止などに備え、休館や開館時間の変更など、施設と利用者、職員の安全を確保するための対応案作成。</p>	<p>■2回の防災訓練を通して改訂を実施。</p> <p>■台風、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、公演中止、臨時休館、短縮営業を実施。休業に関する考え方を財団全体で検討し就業規定に反映。</p>
<p>② 避難訓練</p>	<p>□異なる設定で全職員参加の避難訓練実施 年2回以上。</p>	<p>□2回実施 10/16, 2/19</p>
<p>③ 帰宅困難者及び避難者の受け入れ</p>	<p>■非常時には一時滞在施設・避難受入施設と同等の対応を実施。</p>	<p>□実績なし</p>

(4) 収支について

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 利用料金収入の確保	<p>■利用率および収入目標の達成            芸能ホール 80%、小ホール 70%、            練習室 75%、制作室 55%            収入計 21,200,000 円。</p>	<p>□利用実績            芸能ホール：71%            小ホール：58%            練習室：59%            制作室：29%            □ 16,355,300 円</p>
② チケット受託販売	<p>□受託実績 24 公演以上。            ■チケット取扱中であることが分かるチラシ、ポスター掲出。</p>	<p>□受託 40 公演/事業            ■WEB、チラシ、ポスターにてチケット取扱いを告知。</p>
③ 自主事業収入の増収	<p>■WEB 申込みなどチケット購入方法の            利便性の向上。            ■予約チケット引取ルール改訂により、            未引取チケットを削減。            □入場料収入 147,264,000 円達成。            (予算は 147,064,000 円)            ■団体誘致用企画(幹事向けお試し鑑            賞会) 実施…再掲。            □団体販売実績 月平均 6 団体以上。</p>	<p>■セット券販売            人気公演の WEB 抽選発売            ■自動キャンセルのシステム導            入により、予約済未引取チケ            ット数の減少を実現            □146,928,285 円            ■みなとみらいのイベント連絡            会に参加、にぎわい寄席の PR            実施(3 月公演中止により延            期)            □70 団体/年(11 か月)            月平均 6.4 団体</p>
④ 協賛金の獲得	<p>□協賛(現物協賛を含む) 1 件以上。</p>	<p>□協賛 4 件(キリン・チケッ            トホルダー広告掲載 1 件、撮            影協力 3 件)            助成 1 件(音祭り参加)            □564,580 円</p>
⑤ オリジナル商品 開発および販売	<p>□商品売上 200,000 円以上。            □オリジナルグッズ 3 種類以上取扱。</p>	<p>□3 種(お土産マドレーヌ、チ            ケットホルダー、手ぬぐい)</p>
⑥ テレビ番組収録 の誘致	<p>□経常公演のテレビ収録 年間 6 回以            上。</p>	<p>□経常公演の収録; 3 回</p>
⑦ 経費削減	<p>■入札、見積もり合わせの徹底。            ■計画的なチラシ発送による郵送料            の削減。</p>	<p>■入札、見積もり合わせを実施            ■同月複数件の振込がある相手            先にはまとめて振込</p>

<p>⑧ コスト意識</p>	<p>■シフト調整、公演表方チーフ制による業務分担の見直し等による超過勤務削減。</p> <p>■超過勤務の事前申請の徹底。</p>	<p>■チラシ発送を定期実施</p> <p>□公演表方チーフ制による業務効率化 125回/236公演</p> <p>■超勤事前申請による進捗管理を実施</p>
----------------	--	---

イ 適切な収支構造および収支バランス（別紙のとおり）

## 平成31年度 「横浜にぎわい座」 収支予算書及び報告書

## 収入の部

(税込、単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	211,821,000		211,821,000	211,821,000	△ 0	横浜市より
利用料金収入	21,200,000		21,200,000	16,355,300	4,844,700	施設利用料、附帯設備利用料
自主事業収入	147,064,000		147,064,000	149,089,517	△ 2,025,517	公演チケット収入、講座料収入、貸切公演等の受託料収入ほか
横浜市費用負担	0		0	6,418,000	△ 6,418,000	新型コロナウイルス感染症に関する横浜市の費用負担分
雑入	475,000	0	475,000	2,147,734	△ 1,672,734	
印刷代	5,000		5,000	36,330	△ 31,330	チケット印刷代行、コピー代
自動販売機手数料	70,000		70,000	650,712	△ 580,712	3階売店及び自動販売機売上手数料、2階グッズ売り上げ ※3月臨時休館。お土産マドレーヌ;団体による年賀利用なし。
その他(協賛金、事業負担金等)	400,000		400,000	1,460,692	△ 1,060,692	「教育プラットフォーム」負担金、事業協賛金、広告料、ほか
<b>収入合計</b>	<b>380,560,000</b>	<b>0</b>	<b>380,560,000</b>	<b>385,831,551</b>	<b>△ 5,271,551</b>	
<b>支出の部</b>						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	101,889,000	0	101,889,000	96,673,453	5,215,547	
給与・賃金	84,484,000		84,484,000	80,026,092	4,457,908	館長(7月着任、チーフプロデューサー兼務)、事業スタッフ、運営スタッフ、にぎスタ給与
社会保険料	9,307,000		9,307,000	9,556,321	△ 249,321	健康保険料、厚生年金保険料、介護保険料、雇用保険料、労災保
通勤手当	4,770,000		4,770,000	4,043,206	726,794	
健康診断費	70,000		70,000	51,548	18,452	健康診断、福利厚生費
勤労者福祉共済掛金	54,000		54,000	54,000	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	3,204,000		3,204,000	2,942,286	261,714	
事務費	6,185,000	0	6,185,000	5,605,360	579,640	
旅費	100,000		100,000	162,214	△ 62,214	出張費
消耗品費	565,000		565,000	423,632	141,368	施設運営に係る文具、用紙、消耗品 ※修繕パーツ等は管理費-修繕費
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	260,000		260,000	70,572	189,428	館長就任挨拶状の印刷等 ※マナーチラシ、封筒増刷なし
通信費	908,000		908,000	940,070	△ 32,070	郵送料、通話料、通信費
使用料及び賃借料	253,000	0	253,000	132,377	120,623	
横浜市への支払分	162,000		162,000	160,601	1,399	目的外使用料(3階売店、2階グッズ販売、自動販売機)※3月分一部返還
立替金の戻入				△ 121,644	121,644	★自動販売機目的外使用料 立替分戻り分を1行追加
その他	91,000		91,000	93,420	△ 2,420	NHK受信料、CATV契約(負担分)、PCソフトライセンス料
備品購入費	500,000		500,000	748,569	△ 248,569	2階冷水機更新、ブルーレイ録画機更新、芸能ホール大型LED時計購入、電子大福帳機能追加 ※修繕実績の一部
図書購入費	45,000		45,000	46,168	△ 1,168	参考図書、新聞
施設賠償責任保険	54,000		54,000	53,755	245	
職員等研修費	0		0	87,100	△ 87,100	資格取得・維持(防火防災管理者、食品衛生責任者、サービス介護士)
振込手数料	87,000		87,000	81,086	5,914	信金振込手数料
リース料	2,005,000		2,005,000	1,625,120	379,880	PC、複合機、印刷機、AED、玄関マットレンタル、携帯電話抑止装置、バックアップ用NASの追加リース ※win10PCリース料は2年4月
委託費	628,000		628,000	37,620	590,380	PCセキュリティライセンス経費、業務委託 ほか
手数料	325,000		325,000	150,432	174,568	支払手数料、産廃処理料
施設広報費	200,000		200,000	617,365	△ 417,365	施設広告掲載、施設販促物作成
雑支出(渉外費)	155,000		155,000	400,180	△ 245,180	真打昇進、落慶式典、供花等
地域協力費	100,000		100,000	29,100	70,900	町内会費、神奈川観光協会年会費 ほか
事業費	129,957,000	0	129,957,000	129,207,704	749,296	
自主事業費	129,957,000		129,957,000	129,207,704	749,296	出演料、広報物制作費、票券システム管理料、販売手数料ほか
管理費	106,970,000	0	106,970,000	110,822,135	△ 3,852,135	
光熱水費	12,716,000	0	12,716,000	17,845,341	△ 5,129,341	
電気料金	9,587,000		9,587,000	12,858,308	△ 3,271,308	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
ガス料金	1,918,000		1,918,000	3,355,799	△ 1,437,799	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
水道料金	1,211,000		1,211,000	1,631,234	△ 420,234	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
清掃費	10,749,000		10,749,000	10,751,760	△ 2,760	専有部清掃費
修繕費	2,000,000		2,000,000	1,175,437	824,563	修繕委託、修繕パーツ等の調達 ※設備・備品更新は事務費-備品購入費
舞台技術費	23,074,000		23,074,000	22,879,080	194,920	舞台技術業務のうち、日常業務、施設維持管理に係る経費
設備保全費	40,234,000	0	40,234,000	40,186,992	47,008	
専有部管理費	40,234,000		40,234,000	40,186,992	47,008	専有部の設備管理費、警備費、機械警備費、清掃費ほか
共益費	18,197,000		18,197,000	17,983,525	213,475	ビル共用部管理費、害虫駆除費
公租公課	10,469,000	0	10,469,000	11,813,439	△ 1,344,439	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	10,371,000		10,371,000	11,736,300	△ 1,365,300	
印紙税	70,000		70,000	48,800	21,200	契約書用
その他(法人税、電波利用料)	28,000		28,000	28,339	△ 339	法人市民税、法人県民税、業務用トランシーバー、携帯電話抑止装置電波利用料
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	25,090,000	0	25,090,000	25,090,000	0	
本部分	25,090,000		25,090,000	25,090,000	0	(前年度事業経費-事務局繰入金)×7%
当該施設分			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>380,560,000</b>	<b>0</b>	<b>380,560,000</b>	<b>379,212,091</b>	<b>1,347,909</b>	
差引	△ 0	0	△ 0	6,619,460	△ 6,619,460	